

出石  
城下町

# 伝建 かわら版



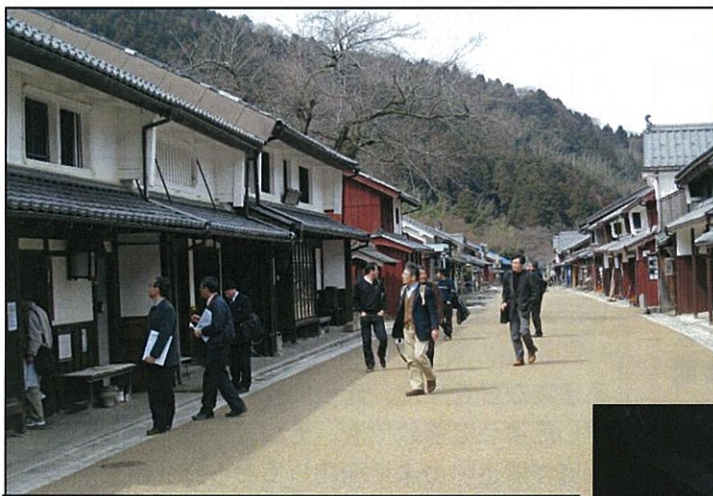
平成 23 年 5 月 25 日発行 編集／豊岡市・豊岡市教育委員会（出石総合支所 地域振興課：TEL0796-21-9025）

出石まちなみ保存会・設計士会 先進地視察研修

## 歴史と水の流れに息づく町 **熊川宿** のちせやま **小浜西組** 小浜湾と後瀬山の間広がる町並

3月14日、出石まちなみ保存会、出石まちなみ設計士会の共催で、先進地視察研修を行いました。行き先は、福井県の若狭町熊川宿伝建地区と小浜市小浜西組伝建地区。保存会、設計士会、出石まちづくり公社のガイドさんなど、総勢20名で伺いました。

どちらの地区においても、その美しい歴史的町並みに感嘆するとともに、地区の住民団体役員さんらのまちづくりにかける想いや熱意に深く感銘を受けました。



電線がないので、町並みの美しさが更に映えます

### <熊川宿伝建地区> (H8 重伝建選定)

江戸時代に「鯖街道」とも呼ばれた若狭街道の中継拠点として繁栄した宿場町。約 1.1km の両側に、屋根の向きが平入りや妻入りに、あるいは真壁造（柱を見せる壁）と漆喰塗込造の建物が不規則に混ざりながらも、連続感を保った町並みが続いています。修理・修景事業が進んだ町並みは大変美しく、また住民によるまちづくり活動も活発に行われています。

### <小浜西組伝建地区> (H20 重伝建選定)

旧小浜町は、今から約 400 年前、小浜城を中心に栄えました。その一部である小浜西組は、商家・茶屋などの町家、寺社、西洋建築物などさまざまな伝統的建造物が多く残り、大変魅力的な町並みを形成しています。NHK連続テレビ小説「ちりとてちん」の舞台となり、また大河ドラマの主人公・お江の姉、お初のお菩提寺「常高寺」があるなど、注目を集めています。



茶屋建築の建物が残る飛鳥区の3丁町界限

# 熊川宿・小浜西組を見聞きして、出石を想う・・・

～参加されたみなさんの声～

## 川見章夫さん(出石まちづくり公社 観光ガイド)

**熊川宿、小浜西組**とも温かく迎えて下さり、自分たちの手でまちづくりをしているという誇りと自信に満ちていた。

**熊川宿**は山間部の宿場町らしく、町の中を前川が流れ、自然な道をイメージして舗装した道の両側に「福井の伝建民家」が立ち並び、電柱のない景色とあいまって、心落ち着く「時」を感じさせてくれた。

**小浜西組**の茶屋町と商家町は、熊川宿と異なるにぎやかだった城下町を醸し出していた。一門一灯運動、通り名称看板設備などは、町並みの情緒を盛り上げ、町への愛着を高めるのに相応しい動きである。

二ヶ所に通じる精神として、「この町に住んでよかったといえる町にしたい」という一念で、様々な困難も乗り越えられ、今に至っていることを案内して下さった方から強く感じた。

**出石**はどうだろうか。出石の方は熊川宿、小浜西組の方に劣らず、町への愛着、誇りは負けはしない。しかし、出石は多くの宝物を有しながらも、電柱の問題、伝建地区に相応しい看板標示、空き家の利活用、伝建の活動拠点「町並み保存資料館」の建設など多くの課題があることを改めて感じる。

## 守山織衣さん(出石まちなみ設計士会 会員)

**熊川宿**は自分達の住みたい町という事が目標との事で、本当にのんびりとして暮らしやすい町だと感じました。家のすぐ前に水路があり、階段もついていたりして、昔の方、今の方の生活が垣間見れました。「イモ洗い」、楽しそうでした。

**小浜西組**は出石とよく似た雰囲気があると感じました。お互い近い年での伝建地区との事で、どんな町になっていくのか楽しみです。



前川の「かわと」(洗い場)が懐かしいですね(熊川宿)

## 柴垣憲子さん(出石まちづくり公社 観光ガイド)

### “春愁や 民家やわらく 鯖街道”

**熊川宿**では、“かわと”、昔“かわいと”と云ってた幼き頃、洗い場で足をふみふみ洗濯していた祖母の姿が重なりました。

**宿場町らしい町並と水の流れ**に癒され、庇(ひさし)に春日が映えて一段とおもむきあり、またゆっくりと歩いてみたいところでした。

**小浜西組**は長い古い町並みに歴史を感じ、驚きでした。賑わい栄えた頃を思いおこし、静かで情緒ある古民家、続く狭い路地にも思いをはせて、大変興味深く見学させて頂きました。

お話下さった住職さんや関係者の方々の熱い思いが今も心に残っています。ありがとうございました。



数百年前の人も歩いた丹後街道を、いざ東へ！(小浜西組)

## 瀬崎研治さん(出石まちづくり公社 観光ガイド)

今回、観光ガイドの一員として参加させて頂きました。

**熊川宿**の鯖街道に面した町並みは、当時を忍ばせる建物が軒を揃え、まるで江戸時代にタイムスリップしたような景観です。そして街道に沿って流れる清流が建造物とよく調和しており安らぎを感じました。また電線が地中に埋設されており、広々とした開放感を味わいました。

ガイドとして**出石**の知識を吸収していく中で、改めて**出石**のよさを認識しました。町民の方々のお客様に対する行き届いたもてなしの心、四季折々のイベント、歴史に沿って催されるお祭り等々、お客様に満足して頂ける魅力ある町並みであることを、自信をもって広報してまいりたいと思います。

伝建整備は今後も進めていかれるのでしょうか、地区を限定して集中的に整備されることは難しいのでしょうか？

## 伊崎照夫さん(出石まちなみ保存会役員)

**熊川宿**では、伝建建造物が多く続き、また街道脇の水路には豊かな水が流れ、**静かなたたずまいの中**に**息づかいのある情緒**を形成していました。

通りがすっきりとしていて空が広く感じたのは、**電柱や電線が見えない施策**がなされていたことに気がつきました。

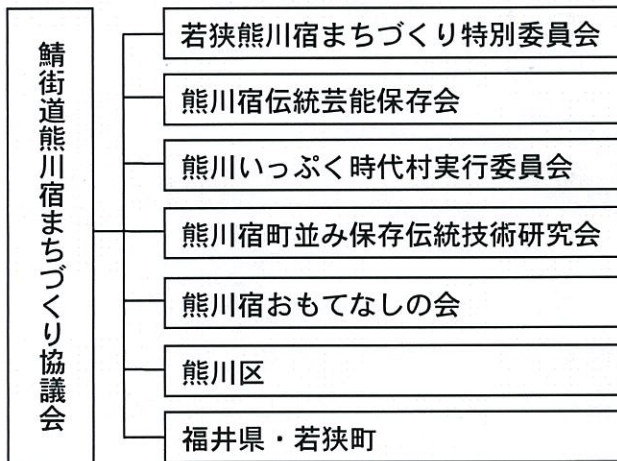
**小浜西組**では、**茶屋建築**が並び三丁町界限は、昔からの**狭い街路**とともに**情趣**があって、**大変魅力的**で印象に残りました。重伝建選定によって修復の建物が増えていくと一層充実されるでしょう。

**両方の地区**では、共通して**①いやしの風景②生活者にとって住みやすい③観光的賑わいは強く求めない**、ということが強調されていたように思いました。

課題としては、たとえば熊川宿住民の約260人のうち65歳以上が40パーセント以上という**高齢化**であるように、また**空き家や留守宅などの増加**の実態が背景にあり、この活用が上げられていたと思います。**出石**においても共通したものがあり参考にしたいものです。「**町並み保存は住民が住み続ける町である必要があります**」の説明が心に残りました。

## ～熊川宿のまちづくりの仕組み～

熊川宿では、「鯖街道熊川宿まちづくり協議会」を設置し、各構成団体においてイベントの実施や、ホームページ・会報の作成などを行い、住民主体のまちづくりを進めていました。



## 大林 誠さん(出石まちなみ保存会 役員)

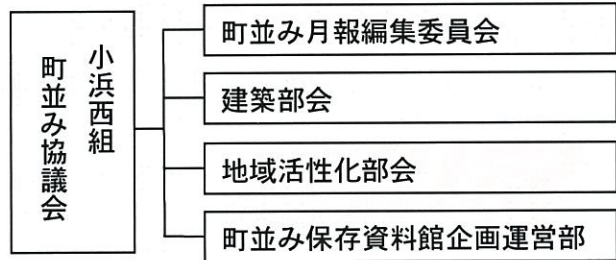
**両方の地区**とも、観光第一ではなく、**郷土愛に根ざして誇れる町を末代まで伝えていきたい**という強い願いを感じた。

**出石**においても建物という目に見えるものだけでなく、暮らし方の価値観そのものを変えていこうとする高い理想を共有できるかどうか成功のカギになるのではないだろうか。

## ～小浜西組のまちづくりの仕組み～

小浜西組では、地区内の各行政区から6～8人の委員を選出し、町並み協議会を組織しています。(協議会委員58名)

協議会内で委員会や部会を設け、夜間の一門一灯運動、通り名称看板設置、自主防災会立ち上げ、その他イベントの実施など、活発にまちづくり活動を行っていました。



## 中島春信さん(H22 出石まちなみ保存会 役員)

**出石**は、熊川宿・小浜西組とちがいが**観光でにぎわう建物、シンボル**がある。これらと伝建地区との調和は、むずかしいと思う。

しかし、これが**出石らしさ、出石の魅力**だと思う。観光地にふさわしいように、という理由で伝建地区の整備を行うのではなく、**地域住民が誇れる町並みにするために**行ってほしいと感じました。

## 青山克治さん(H22 出石まちなみ保存会 会長)

**熊川宿**は、街道沿いの細長い地区で、**電線は地中化**されており、**景観もよかった**。

**出石**でも**電線の地中化**における**要望を関係機関に行うべきではないか**と思います。

**小浜西組**は、**協議会の中に部会**(広報部会、地域活性化部会等)をつくり、町づくりを行っておられますので、よくまとまっているように思いました。

**出石**でも町づくりは進んでいますが、保存会、設計士会、まちづくり公社、城下町を活かす会等それぞれが独立して活動されていますから、**一つにまとまって活動できればよりよい町づくりが出来るのではないか**と思います。

熊川宿のまちづくり協議会、小浜西組の町並み協議会及び若狭町、小浜市のみなさんには大変お世話になり、ありがとうございました。

今回の研修を参考に、これからの出石伝建地区のまちづくりをどのように行っていくか、みんなで考えていきたいですね。

# 出石まちなみ保存会、役員、予算等決定

## 平成23年度 第1回役員会開催

4月4日、出石まちなみ保存会の平成23年度第1回役員会が開催されました。

昨年度の事業報告、決算報告のあと、今年度の事業計画、予算が決定されました。

また、役員任期は2年ですが、今年度は改選年となっていることから、新たな役員が決定されました。

### 【平成22年度 事業報告】

年月日	活動内容
H22. 4. 30	第1回役員会
H22. 7. 6	第2回役員会
H22. 7. 27	出石まちなみ保存会4役・出石まちなみ設計士会役員 合同会議
H22. 9. 18	でんけん研修会・修理現場見学会・住宅改修相談会
H23. 3. 14	出石まちなみ保存会・設計士会 先進地視察（熊川宿・小浜西組）

### 【平成23年度 役員】（敬称略）

役職	氏名	地区
会長	西池 匡	内町
副会長	山口 進	八木
事務局長	上田 修三	本町
会計	伊崎 照夫	宵田
理事	中西久美雄	材木
"	小畑 宏明	魚屋
"	青山 克治	魚屋
"	大林 誠	内町
"	上坂 泰三	八木
"	高品 宣良	本町
"	加藤 芳則	宵田
"	秋山 治	田結庄
監査	金子 実	田結庄
監査	中村 英夫	材木

### 【決算・予算】

#### 収入の部

（単位：円）

科目	H22 決算額	H23 予算額	摘要
負担金	70,000	70,000	10,000×7地区
特別負担金	21,000	10,000	視察研修負担金
繰越金	52,621	92,063	
雑収入	20	937	預金利息等
合計	143,641	173,000	

#### 支出の部

（単位：円）

科目	H22 決算額	H23 予算額	摘要
会議費	2,100	8,000	役員会費
事業費	47,878	110,000	
調整費	0	—	H23科目廃止
事業開催費	—	10,000	H23科目新設
研修費	40,378	90,000	視察研修費、修理現場見学会講演会
広報費	7,500	10,000	チラシ作成費
旅費	0	40,000	全国伝建協議会研修会参加旅費
事務費	1,600	5,000	
予備費	0	10,000	
合計	51,578	173,000	
収支	+92,063	±0	

**来年度伝建事業  
申請締切は6月末!!**

来年度の伝建事業実施希望（補助金交付希望）を募集しています。希望者は、「補助金申請希望願」を提出してください。

- 提出先 **物件所在地の区長さんへ**
- 提出締切 **6月30日(木)必着**

※希望願の用紙は、区長さん宅、又は出石総合支所 地域振興課にあります。

※制度の詳細など、詳しくは出石総合支所 地域振興課にお尋ねください。

Tel : 0796-21-9025